

砂防事業の概要

近年、気候変動等に伴い、土砂災害が頻発化・激甚化しています。北海道においても、平成28年8月の一連の台風によって土砂災害が48件発生したほか、大量の不安定土砂や流木が発生するなど、豊平川や十勝川では、再度災害の防止が急務となっています。また、活発期を迎えている十勝岳及び樽前山が噴火した場合は、泥石流等により甚大な被害が発生する恐れがあり、被害防止・軽減のため砂防施設の整備を推進しています。

また、平成30年9月に北海道胆振東部地震によって、厚真町を中心に発生した大規模土砂災害では、特に被害の著しかった地域において、再度災害を防止するため砂防堰堤等の砂防設備の整備を実施しています。

直轄砂防事業図

凡例

- : 主な砂防直轄事業
- ▲ : 気象庁常時観測火山
- ▲ : 活火山

